

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第40号
平成21年2月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

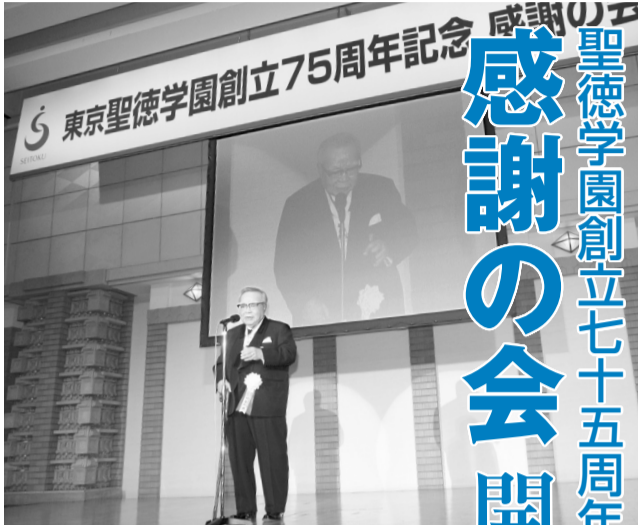
聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



十一月二十八日(金)、帝國ホテル孔雀の間において東京聖徳学園創立七十五周年記念感謝の会が開催されました。感謝の会には、高円宮妃久子殿下、塩谷立文部科学大臣、野田聖子内閣府特命担当大臣(本学前名誉学長)をはじめ千六百名を超えるご来賓の皆様にご臨席を賜り、学園の七十五周年記念に相応しい盛大な感謝の会が開催されました。

当日は、会場の受付プログラムから会場内に至るまで、ハンドベル、スクエアピアノ、箏、木管アンサンブル、金管アンサンブル、室内楽など、中学生・高校生・大学生および音楽学部の先生方による様々なウェルカム演奏が行われ、和やかな雰囲気のもとお客様をお迎えいたしました。



■主なトピックス■

- ・聖徳学園創立75周年記念 感謝の会開催
- ・第50回 全国書道展記念展 文部科学大臣賞受賞
- ・ヘルシーコンピュータコンテストにて千葉県知事賞を受賞 人間栄養学科 附属中学校・高等学校
- ・聖徳学園のルーツ探訪 大学事務局長 吉田 眞言
- ・ウェブ壁新聞(BISOCIE)コンペティションを開催しました! 総合文化学科
- ・夜間オープンキャンパス開催 幼児教育専門学校
- ・修学旅行を終えて 聖徳中学校・高等学校
- ・てのひら文庫賞読書感想文コンクール 7年連続最優秀学校賞受賞 附属小学校
- ・小学生の「ゆめ・仕事びったり体験」 附属幼稚園
- ・公開学術講演会のご案内 聖徳大学言語文化研究所

INDEX

学園	1~2
大学院・大学・短大	2~4
幼児教育専門学校	5
附属中・高	2・5
聖徳中・高	5
小学校	6
幼稚園	6~7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成18年11月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)

ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本誌に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/totawase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで



高円宮妃久子殿下



川並弘昭 理事長・学園長

本学音楽学部の青戸知壽師による国歌斉唱に続いて、川並弘昭理事長、学園長の挨拶では、学園創立七十五周年を迎えた喜びと、川並香順先生・孝子先生が昭和八年に大森新井宿に聖徳家政学院・新井宿幼稚園を開設されてから、今日までの学園の道のりを話されました。そして、日頃のご支援に対する感謝と引続きのご支援をお願いを述べられました。

続いて、高円宮妃久子殿下より、「本日の感謝の会が盛大に開催されて、皆様と共に祝いできますことを大変嬉しく思います。昭和八年の創設以来、聖徳太子の和の精神を建学の精神としながら、我が国の女子教育、幼児教育の場として幼稚園から大学院までの一貫教育の達成を図ってこられました。その長年のご苦勞に、ご努力に、心より敬意を表します」とお祝いのお言葉を述べられました。



野田聖子内閣府特命担当大臣



塩谷立文部科学大臣

言葉を賜りました。そして、塩谷大臣のご祝辞、学園紹介のビデオ上映、祝電披露と会は進行し、続いて大沼淳日本私立大学協会会長、文化女子大学理事長・学長のご発声による乾杯が行われました。さらに、ご臨席の議員の先生方の紹介が行われ、代表して野田大臣よりご祝辞を頂戴いたしました。続いて本学客員教授として学生の育成にご尽力いただいている帝國ホテル田中健一郎総料理長より、腕によりをかけてお作りいただいた、すばらしい料理をご説明いただき、和やかな会食・歓談が進められました。

さらに会は進行し、安西祐一郎全私学連合会長、慶應義塾長よりご祝辞を頂戴いたしました。そして松島鈞本学副学長よりご臨席の皆様にお礼のご挨拶があり、閉会となりました。

聖徳学園創立75周年 記念行事のご案内

日時/2月28日(土)13:00~17:00(予定) ●会場/聖徳大学川並香順記念講堂

聖徳大学 児童学研究所主催 **子どもの発達シンポジウム**

聖徳大学児童学研究所では「子どもの発達」を各専門分野の先生とともに研究し、毎年一回シンポジウムでその成果を発表します。昨年は、幼児期の脳高次機能の発達をテーマに行いました。今回は、シリーズ第三弾として、学童期の発達をテーマに開催いたします。

第3回シンポジウムテーマ **「子どもから大人へ - 子どもはいつから大人の世界に興味を持つか -」**

■基調講演 **「子どももの見方・考え方」** 次山 信男氏 (東京学芸大学名誉教授)

■シンポジウム 講演 中尾 美英子氏 (聖徳大学人文学部人間栄養学科教授) 相良 順子氏 (聖徳大学児童学部児童学科教授) 松本 祐二氏 (松本小児科医院院長・島根県性教育連絡協議会会長)

*入場無料です。参加ご希望の方はあらかじめ、往復はがきまたはE-mailでお早めにお申し込み下さい。お申込み確認後受講票をお送りいたします。会場関係で定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

●申込先/ 聖徳大学児童学研究所(知財戦略課) E-mail: jidouken@seitoku.ac.jp 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬650 電話:047-365-1111(大代)

2009年 4月新設 **教職大学院 スタート!**

教職大学院入試、間もなく入試B・C日程を実施

今年度、大学院に教職研究科(教職大学院)が新設されます。この研究科は、幼児に特化した、日本で唯一の「幼児教育コース」と、児童に特化した「児童教育コース」の2コースを設け、「保育の聖徳®」で培ってきた、実践的かつ専門性の高い教育を提供します。また、現職教員向け・学部修了者向けと、キャリアに応じた教育課程を設け、さらに現職教員の中でも、10年研修者修了の方と未修了の方に分けることで、さまざまな学びのニーズに対応しています。

この開設に先立ち、入学試験が、2月15日(日)のB日程、3月8日(日)のC日程と2回実施されます。どちらの日程も「現職教員特別入試」、「一般入試」、「社会人特別入試」を実施し、受験される方の個々の特性に合わせた入試となっています。本学の学生はもとより、教育の第一線で活躍する現職の教員、さらには社会の多方面で活躍する方にも、広く受験していただければと思います。

*入試日程はP8をご参照ください。 *出願書類、締切日などの詳細は、平成21年度入試要項にてご確認ください。

聖徳大学大学院 教職大学院 入学定員:30名(共学)

お問い合わせ先: 入学センター 受験相談フリーダイヤル: **0120-66-5531**

聖徳教育の核として、キャンパスコアとなる新1号館 **竣工式** 4月4日(土)

*写真は3点共に完成予想イメージです。

第五十回 全国書道展記念展 文部科学大臣賞受賞

(主催・大東文化大学)



平成二十年十一月二十四日(月)、品川プリンスホテル・プリンズホールにおいて、第五十回全国書道展記念展の表彰式ならびに入賞作品展覧会が開催されました。今回の展覧会は全国各都道府県の一

般成人・大学生・高校生・小中学生ならびに中国・韓国・台湾などの海外から、総数二万二千七百二十一点の出品数があり、本校は条幅部門で全国八位となる「全国高等学校書道協議会賞」に

山田千穂さん(高校三年)が、また半紙部門で全国第七位となる「全日本書道連盟賞」に中川愛弓さん(高校三年)



左から：小泉さん、中川さん、山田さん



中川愛弓さんの作品 小泉綾香さんの作品



山田千穂さんの作品

となったこの全国書道展は、学生を対象とした公募展では最も歴史と権威がある書道展として有名で、全国の書道の活発な高校はこぞつてこの展覧会を目標に練習に励んでいます。今回の全国書道展では、本校は一団体として上位入賞者が全国で最も多く、その結果、学校表彰として「文部科学大臣賞」の受賞が決定しました。また、全国の書道関係者に配布される「記念展特集号」の記事では、本校の中高一貫の書写書道の取り組みと受賞の喜びが紹介されました。

平成二十年度 第三十九回 千葉県私学教育 功労者表彰

本学園より五名の先生方が、千葉県私学団体連合会より千葉県私学教育功労者表彰を受けられました。



木村 敬子 先生 (児童学科長[夜間主]教授)



佐々木 美奈子 先生 (社会福祉学科教授)



落合 厚子 先生 (附属中高教諭)

先生方の多年にわたる千葉県の私学教育の振興発展に対する功績が認められ、今回の表彰となりました。心よりお祝い申し上げます。



宮坂 いち子 先生 (英米文化学科教授)



小櫃 芳江 先生 (保育科教授)

第十五回 ハッピーホームカミング開催

聖徳大学校友会主催・香和会共催



聖徳大学校友会主催、香和会共催で始まったハッピーホームカミングも今年で十五回を迎えることができました。

聖徳祭第一日目の十一月八日(土)午後三時半より、川並弘昭学長をはじめ、先生方四十二名と卒業生百九名、計百五十一名の参加で盛大に開催されました。数年前までは、参加人数も少なく、少規模の開催でしたが、今では大学八号館クリスタルホールの食堂

「アミティエ」がいっぱいなるほどの参加者となりました。

卒業生の中には南は沖縄、そして北は北海道からわざわざ足を運んでくれた方、卒業して初めて母校に足を運んでくださった方などさまざまでしたが、学長先生のお話が始まると同時に、学生時代に戻ってうなずきながら聴いている姿がとて印象的でした。会を開催するにあたり、

学友会会長をはじめ実行委員ら現役の学生が運営に携わっておりましたが、卒業生の皆様のパワーに圧倒される場面が多く、今の聖徳があるのは卒業生のおかげ



というのを感じたとともに、一緒に同窓会の雰囲気を楽しんだようでした。

第17回 学寮スポーツ大会を盛大に開催!

十一月十六日(日)、本学体育館において第十七回学寮スポーツ大会が盛大に行われました。本大会は、各寮がスポーツを通して交流を深め、寮生活をさらに充実したものとするを目的として、毎年開催しています。今年も寮生の発案を積極的に取り入れ、競技種目をバレーボール、ドッジビー(フライングディスクを用いたドッジボール)、玉入れ、パフォーマンスの四つに変更。気軽に参加することができ、競技を増やしたことにより参加者が増加し、参加率が過去最高の五十三パーセントに達しました。また、保護者の方にも増した熱い戦いが繰り広げられました。本大会を通してより深まった「寮の和」を今後の寮生活に生かし、寮生の大きな成長の一助となることを願っています。



●バレーボール●

優勝	富士見寮
準優勝	順和寮
第3位	和心寮
敢闘賞	香風寮

●玉入れ●

優勝	和心寮
準優勝	富士見寮
第3位	順和寮
敢闘賞	香風寮

●ドッジビー●

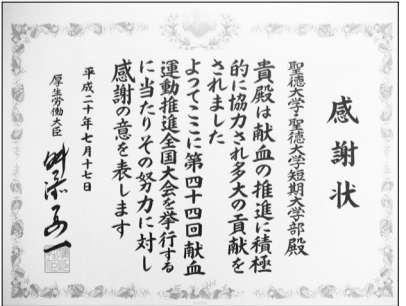
優勝	富士見寮
準優勝	和心寮
第3位	香風寮
敢闘賞	順和寮

●パフォーマンス●

優勝	富士見寮
準優勝	香風寮
第3位	順和寮
敢闘賞	和心寮

総合優勝 富士見寮

血厚生労働大臣 感謝状を受賞



去る平成二十年七月十七日に栃木県で開催された第四十四回献血運動推進全国大会において、献血に積極的に協力した団体等に対して厚生労働大臣表彰・感謝状の贈呈が行われました。本学は「厚生労働大臣感謝状」の贈呈を受け、十月三十一日に開催された千葉県献血感謝のつどいにおいて伝達式が行われました。千葉県では、本学ほか十三団体が受賞しました。

平成20年度 献血結果

実施日	受付者数	200ml	400ml	低比重他
5月9日	126	29	40	57
6月6日	96	27	17	52
7月4日	28	9	9	10
10月3日	86	32	19	35
計	336	97	85	154

今後とも、献血協力団体として、学生に協力を呼びかけ、人数を増やし、献血の推進に協力貢献をしていきたいと思っております。

人間栄養学科 ヘルシーコンビニ弁当コンテストにて 千葉県知事賞を受賞

本学人文学部人間栄養学科の学生が参加した、「栄養士のタマゴが考えた!ヘルシーコンビニ弁当コンテスト」にて学生二名が、最優秀賞である千葉県知事賞に輝きました。

今回のコンテストは、脱メタボリックシンドロームや生活習慣病予防のために千葉県が企画したもので、二十代から四十代の男性がよく利用するコンビニ弁当を千葉県内の管理栄養士・栄養士養成施設の学生が考案するというものです。

今回は、全作品二百三十七点中、一次審査で十五点(うち十三点が聖徳大学学生の受賞)に絞られ、県知事賞には人間栄養学科二年・八木下智恵さんの「スタミナ!!弁当」、同二年・五十嵐唯花さんの「疲れた体にビタミンチャージ弁当」が受賞しました。

受賞作品について八木下さんは「父と兄は生姜焼きが好きなことを思い出し、スタミナのつくお弁当を考



「スタミナ!!弁当」の八木下智恵さん

■二次審査選考作品■

作品名	氏名
スタミナ!!弁当【知事賞】	八木下 智恵
疲れた体にビタミンチャージ弁当【知事賞】	五十嵐 唯花
色彩玉手箱【農林水産部長賞】	吉田 梨絵
春たっぷり健康指向弁当	田崎 早奈恵
ヘルシー&がっつり弁当	内田 亜紀乃
がんばれお父さん!!弁当	齋藤 久美
ヘルシー中華	伊垣 秀美
なつかし弁当	近藤 明子
ヘルシー弁当	橋岡 知里
ひじきごはん弁当	萩原 智美
スタミナ☆チキン弁当	飛騨 麻奈美
ばあばのお弁当	中荳 英里香
田舎弁当	鈴木 史美

※全て人間栄養学科2年生

また、五十嵐さんは「ヘルシーなお弁当を目指しましたが、対象が二十代から四十代の男性ということ

で、お酒を飲む人が好きな材料で美味しく食べられるお弁当を考えました。酢を使った料理を入れたらいい、甘酢あんを考えました。実際料理をしてみると、甘酢あんは家庭でも好評でした」と、それぞれの作品に対する思いを語っています。



「疲れた体にビタミンチャージ弁当」の五十嵐唯花さん



人間栄養学科の桂きみよ教授は、「このコンテストは栄養面だけでなく、コストも意識しながらお弁当を作る良い勉強になっています。二人とも、実際にコンビニ弁当を事前に調査し、お父さん、お兄さんそして友達の好物を聞きながらお弁当を考えたのが良い結果につながったと思います。また、二人とも家庭でお母さんが作るお弁当に似ているそうです。その意味での家庭での食事の役割も大きいと思います」とコメントしています。

県知事賞を受賞したお弁当は、今後、セブーンイレブンジパンで商品化されます。(三月末から千葉県内で販売予定)

聖徳学園のルーツ探訪

東京聖徳学園は昨年(平成二十年)、創立七十五周年という記念すべき年を迎えました。これを機に学園のルーツを探訪しました。

第一部 記憶をたどる

学園長が、事あるごとに「学園のルーツは、まず、東京都大森の聖徳家政学院・新井宿幼稚園に始まる」と話されます。では、その「聖徳家政学院」は、大森のどのあたりにあったのか、現在はどうのようになっているのか、都区内二十三区の地図から似かよった地名を中心に探しましたが、見つかりません。

第一部 目で確かめる

十月のある日曜日、地図を頼りに一人で探索に入りました。大森の旧聖徳家政学院・新井宿幼稚園方面へ、足を向けました。でも、大森付近には土地勘がありません。入新井第二小学校を目指しました。同小学校を確認し、念願の「白田坂」へ向いました。白田坂へ到着する前に、家政学院・幼稚園の名残があるはずと探しましたが、昔の名残は見つかりません。来た道を戻り、途中のお店(薬屋、花屋)でいろいろと尋ねてみましたが、六十年以上も前の話です。若い人々には知らないのは当然です。

第二部 仲間と一緒に

新橋駅前のSL広場をスタートし、旧西桜小学校の跡地(現「虎トピア」)までは、約十五分。そこから愛宕通りに沿って、三田の地へ向



大学事務局長 吉田 眞言

【聖徳家政学院・新井宿幼稚園から現在までの道のり】

- 昭和8年4月 「聖徳家政学院・新井宿幼稚園」を創立(東京市大森区新井宿4丁目1143番地)
- 昭和19年3月 戦時下につき「聖徳家政学院」を閉鎖、「聖徳学園保母養成所」を設立
- 昭和20年4月 東京大空襲により、校舎・園舎焼失
- その後、「聖徳学園保母養成所」を芝区西桜国民学校(のちの西桜小学校)へ移転
- 昭和22年2月 「聖徳学園保母養成所」を「聖徳学園高等保育学校」(現在の「聖徳大学幼児教育専門学校」の前身)と改称
- 昭和24年3月 財団法人聖徳学園(学校法人の前身)設立認可
- 昭和25年1月 「聖徳学園高等保育学校」を三田へ移転(港区芝通新町13番地)
- 昭和27年4月 休園中の「新井宿幼稚園」を「聖徳学園三田幼稚園」と改称し、再開
- 昭和40年4月 「聖徳学園短期大学」(現在の「聖徳大学短期大学部」)を開設
- 平成2年4月 「聖徳大学」を開設



- 開校・開園当時の聖徳家政学院・新井宿幼稚園
- 現在の旧聖徳家政学院・新井宿幼稚園跡地
- ①スタート地点:新橋駅前のSL広場
 - ②旧西桜小学校の跡地(現「虎トピア」)
 - ③愛宕山
 - ④慈恵医大病院
 - ⑤東京タワー
 - ⑥慶應義塾大学
 - ⑦75周年の記念植樹「はなみずき」の場所
 - ⑧ゴール地点



いきました。途中、名所である愛宕山、慈恵医大病院、東京タワー、慶應義塾大学等を通過。三田までは、一時間。三田の聖徳大学幼児教育専門学校が七十五周年の記念に植樹した「はなみずき」と記念撮影を行い、いよいよ目的地「大森」を目指し、旧海岸通に出ました。土曜日の午後は、比較的交通量も少なく、暖かい日でした。青物横丁駅、大井町駅をとおり、池上通りをひたすら西へ大森駅を通過。



ゴール地点で参加者の記念撮影

十一月の日没は早く、午後四時二十分には暗くなりかけ、ゴール地点「聖徳家政学院・新井宿幼稚園の跡地」に到着は、午後四時五十分(総移動距離:14.2km、所要時間:三時間三十五分、平均速度:4km/h)。現在は、スーパーゼイソン、医院、ドライクリーニング店、中華ラーメン店、ふとん店、動物病院が建っています。往時の写真と比べてみても、相当に大きな建物であることが実感できました。当時の建物設計図がありませんので、詳細は不明ですが、

感覚では、横幅は十間(十八メートル)程度でしょうか。

学園創立者である川並香順先生が、女子教育にかけた情熱は素晴らしいものではなかったでしょうか。「夢色のたすき 100年」のキャッチフレーズで、十一月下旬には七十五周年記念感謝の会が開催されましたが、香順先生から受け継がれた「夢色のたすき」は、色褪せることなく、つながっていることを確認できました。この跡地とおぼしき所に「東京聖徳学園発祥の地」という碑を建立する日を念願して、探訪記を締めくくりたいと思います。

総合文化学科 ウェブ壁新聞「BISOCIE」コンペティションを開催しました!



去る十二月十三日(土)、東京聖徳学園創立七十五周年記念行事として、キャリア支援室と共催で、「第三回ウェブ壁新聞「BISOCIE」コンペティション」を学内で開催しました。

上の苦労話などを披露します。新聞とプレゼンテーションを総合しての審査、投票には、一年生や教職員、保護者、来賓も加わって参加者全員で行いました。

今年三回目の開催でしたが、年々新聞の内容もプレゼンテーション技術も向上しており、どのグループも入念に準備してきたことを窺わせるような発表で、参加者を唸らせました。審査の結果、八グループの中から最優秀賞に選ばれたのは、文芸・編集、図書館司書プランチグループの「街が語る松戸の謎」、

今年三回目の開催でしたが、年々新聞の内容もプレゼンテーション技術も向上しており、どのグループも入念に準備してきたことを窺わせるような発表で、参加者を唸らせました。審査の結果、八グループの中から最優秀賞に選ばれたのは、文芸・編集、図書館司書プランチグループの「街が語る松戸の謎」、

女性キャリア学科

長期インターンシップの成果



人文学部女性キャリア学科では、半年間の長期にわたるインターンシップが必修になっています。

今回、そのインターンシップ中に作成した論文が、「第九回鉄道貨物振興奨励賞」にて、専門家の中に混じり「努力賞」に輝いた、女性キャリア学科三年・広瀬淳子さんの事例を

紹介したいと思います。

昨年四月より半年間、日本貨物鉄道株式会社(以下、JR貨物)でインターンシップを実施した広瀬さんは、「インターンシップ先のJR貨物は、電車で貨物を運ぶ業務

驚きました。私の業務には、通常業務と平行して、「第九回鉄道貨物振興奨励賞」に向けた、論文の作成が加わりました。現在学生の私は、先生に言われた宿題の感覚で論文を作成し、部長からの課題を淡々と提出していました。学生は決められた課題を毎回提出する事だけで、一生懸

優秀賞はITコミュニケーションプラランチの「バイキングde いーていんぐー」、優良賞は製菓プラランチの「地産地消で自給率アップ」でした。

新聞の評価のポイント、見た目だけではなく、実際に何度も取材しているかどうか、どれだけ時間をかけて制作したかということも大切です。最優秀賞グループは、小説「野菊の墓」を調べるために、千葉県山武市にある伊藤左千夫記念館まで出かけています。また、松戸の街を歩いていて提灯屋さんを発見し、平成の時代に「ビジネスとして成り立つのか」という疑問を持ったことから、記事ができあがりました。

株式会社ベネッセコーポレーションの橋本博喜氏からは、「全体の講評として「しっかりと準備して、ちゃんと伝わってほしい」と思っています。発表に臨むと、必ず聞き手に伝わります。今回はそれがよくできていました。今後の就職活動にも役立ちます」、「なぜこのテーマにしたのかをもっと

明確に伝えられるとよいと思います」というアドバイスをいただきました。さらに、「この新聞制作に代表されるように、二年生が一年生に「伝える」ということは、総合文化学科の伝統ではないでしょうか」とも評価してくださいました。

表彰式の興奮さめやらぬ中、最優秀賞グループの学生からは「読み手や聞き手に興味を持ってもらうためには、普段の図書館の中で終わってしまおうような調査ではなく、生身の人間が登場しなければならぬという思いを強く持つて、積極的に取材をこなしました。その際、外に出るのが楽しくて、地域の方々と話すのも全く緊張しませんでした」と、なんとも頼もしい声が聞きました。一年生はそろそろ就職活動を開始する時期です。今回のコンペティションで、「BISOCIE WOMAN(「社会に貢献できる自立した女性」の意)への第一歩を踏み出したといえましょう。

命にやっつけているという評価はいただけませんが、社会人は課題を提出するだけでは、当たり前なことをやっているだけで、評価してもらえません。課題の提出プロセスが何であるかが評価されます。そのことに、学生との感覚の違いを感じました」と振り返っています。

実習を指導した女性キャリア学科の島田薫教授は、「女性キャリア学科では、どのようなインターンシップ先でも戦力になれるように、事前の教育をしっかり実施します。半年間企業にて即戦力として実習させていたためにマナー、電話対応だ

言語文化研究所

公開研究発表会

「チベット族と高車族と」上賀茂神社の降神儀礼

昨年十一月十二日(水)、聖徳大学十号館で第百十九回研究発表会が開催されました。発表者は山口博本学言語文化研究所長です。

昨年の言語文化研究所主催の連続講座では、古代ア



青海省のレゴン以外の村で行われている同種の降神儀礼が、中国青海省レゴンのチベット族の間に残っていることを知り、昨年八月に取材し、今回発表をしました。

第四十四回 聖徳祭を成功に導き、学長から表彰される!



聖徳大学・聖徳大学短期大学部では、毎年「聖徳祭」の実施に関して、優れた学生を表彰しています。平成二十年度は、「学友会」と「聖徳祭実行委員会」が、昨年十一月に行われた第四十四回聖徳祭の成功に大きく貢献したことが認められ、十二月十二日(金)の教員会で表彰されました。

今年度は、「あなたの手で Its time to begin!」をテーマに掲げ、学友会役員と聖徳祭実行委員会が中心となり、聖徳祭を盛り上げました。

聖徳祭を盛り上げました。なかでも、学生・教員・事務職員が、歌やダンス、漫才などを披露する「座・SHOW」という新企画では、今までになく一体感をもたらしました。

宮崎さんは、「私を成長させてくれた学友会から卒業してしまふのがとても寂しいですが、学生だけでなく、普段接することのできない人々と関わりを持てたことがなにより収穫です」。また、松田さんは、「とにかく人前に出て目立つことが好きという理由で、委員長に立候補しました。しかし、違った価値観を持つ学生をまとめていくことの難しさを痛感しました」と、それぞれの想いを語っています。

「英語学習のウソ・ホント」 英単語学習のウソ・ホント

昨年十二月十一日(木)、聖徳大学七号館にて英米文化学科講師 笠原先生による第百二十回研究発表会が開催されました。



この、研究発表会は、英語教育に携わる人を対象にした発表会で、英語教育に関する専門的な内容をわかりやすく説明したものです。

聖和会 活動報告

聖和会は、本学通信教育部の短期大学部、大学院の同窓会で、現在三千名の会員数で活動しています。

本会は総会と役員・支部長の研修会を年度により交互に開催しており、また首都圏の支部においても支部会が開催されています。本年度については、昨年六月に本学十号館で総会が開催されました。当日は総会で予算、決算報告、事業報告のほか、事務局からも在学生の現状などが報告されました。総会後の懇親会では、全国から集まった同窓生同士、楽しく旧交を深め、二年後の再会を約束して盛会に終了しました。また、東京支部では本年一月二十五日(日)に、池袋のメトロポリタンプラザにおいて支部会が催され

り、実際のコミュニケーションで使うには、含意、派生語、使用上の制約(文法的制約、使用域など)、頻度、コロケーション、連想される語など様々な知識が必要になります。自立した学習者として、辞書に頼らずに英語の文章を読んでいくためには、少なくとも辞書見出し語換算で五千語の意味がわかる必要があります」と発表しました。また、英単語の記憶方法も具体的な例を挙げて発表していました。



ました。今年は役員・支部長研修会を夏期に開催する予定です。

幼児教育専門学校

聖徳学園創立七十五周年記念

第五十二回

グループ研究 発表会を終えて

今年度は、学園創立七十五周年という輝かしい年にあたり、グループ研究発表会も五十二回という長い歴史を持つ発表会に向けて、一年間取り組んできました。

十二月十四日(日)に、全校をあげて「グループ研究の発表」、「発表を聞いて勉強をする」という行事を無事終了することができました。

聖徳大学・聖徳大学短期大学部・三田幼稚園等の先生方の参加を得て、貴重な質問やご指導をいただき、まとめの原稿に生かされていくことと思います。



●一、二年生の声(見学者)
「ただ発表するだけでなく、スライド・パワーポイント・OHC・資料配布・寸劇など発表の仕方の勉強になりました」
「自分の興味をもったことを深く掘り下げていきたいので、今からテーマを探していきたい」

テーマについても最近の教育事情を取り上げていたり、保育者になったときに役に立つ実践であったり、約九ヶ月間でまとめあげ、発表にこぎつけることができました。グループ全員で研究を進めていく難しさも勉強できたよいチャンスです。

「グループ員で話し合い、進めていく難しさを学んだ」
「グループ発表という場を通して一人ひとりが学び、保育者になったときに生かしていけたらと思います。」

夜間オープンキャンパス開催

夜間オープンキャンパスも恒例となり、二〇〇八年度は十二月までに五回の夜間オープンキャンパスが実施されました。

毎回、午後五時半より二部の学生スタッフが教職員に



加わり、懇談会から始まり、続いて六時より十五分刻みで二部の生活について、助手勤務について、そして最後に入試についてというプログラムです。その後、希望に応じて授業見学や個別

相談が行われました。学生スタッフを交えての懇談会では、参加者からの率直な質問も飛び交い、また熱心に在学生の説明に聞き入る姿が見られ、内容の濃いコミュニケーションが行われていました。授業見学も僅かな時間に聞きたいと思っていた実習関係の話が偶然聞くことができ、思わず収穫に満足して帰ったという話もありました。昼間の仕事を終えて滑り込みで夜間オープンキャンパスに駆けつけたという声もありました。昨年度に始まり、夜間を利用したオープンキャンパスは好評でこれからも受験生のニーズを取り入れたものとして推進してまいります。

附属中学校・高等学校

クリスマスコンサート

十二月二十日(土)、本校のホールで、毎年恒例のクリスマスコンサートが開催されました。ホールは明和会(生徒会)のスタッフ



によって美しく飾り付けられ、クリスマスツリーも設置されて雰囲気盛り上げます。今年は三つの音楽団体が名乗りを上げて素敵な演奏を繰り広げました。まず

一番手は吹奏楽部(写真上)。最近のヒット映画の曲などを豪華に演奏し、聴衆もとても喜びました。二番手は日本音楽部(写真下)。全員が和服を着て琴の合奏です。この日はクリスマスに合わせて、琴

聖徳中学校・高等学校

修学旅行を終えて

十一月十日(月)～十五日(土)まで、附属高校、聖徳高校合同の修学旅行団が九州修学旅行に行ってきました。

聖徳祭が終わり、あわただしいなかではありましたが、事前指導、事前学習を行いました。「楽しい旅行にしよう」、「時間を守ろう」、「あいさつをしよう」という目標のもと、入学以来実践している体調管理や、他を思いやる言動をとること等、生活面のまとめとして位置づけ、旅行に臨みました。旅行中は好天が続き、また例年になく気温も高かったということもあり、快適

に旅をすることができました。平戸、長崎市内、普賢岳、雲仙、熊本城、阿蘇火口、吉野ヶ里遺跡、太宰府など、予定されたコースを順調に見学することができました。生徒たちは事前学習のアイデアや資料より、本物の迫力に感動していました。ホテルニューオータニでのテーブルマナーは緊張のなかで学習することができ、とても良い思



聖朋会活動報告

聖朋会

聖徳中高同窓会

聖朋会は昭和六十一年に聖徳大学附属聖徳高等学校の同窓会として発足しました。会員は平成二十年三月卒業の二十三期生までで七千八百五十二名になりました。

聖朋会の主な活動は会報の発行や総会の開催、母校の先生を講師に招いてのフラワリアルンジメントの開催、クラス会助成等を行っています。今年度の総会は一期生から三期生までの同窓会も兼ねて開催し、懐かしい顔ぶれの揃う盛大な会になりました。さらには、毎年聖徳祭には聖朋会の有志で模擬店販売の参加をしています。模擬店では今年度も「玉こんにやく」と「手作り菓子」を販売しました。「玉こんにやく」の出品は恒例となっており、毎年楽しみにしていただいております。



三月六日、卒業式の前日に聖朋会の入会式が行われ、新たに百十五名の会員を迎えることになりました。これからも、会員同士の交流や情報交換の場としてさまざまな行事を企画しながら、母校の支援とともにさらなる発展と充実を目指して活動していきたいと思



附属小学校

漢字能力検定 準二級に高合格率



併せて漢字の成り立ちなどを教わることよって、漢字に対する興味関心が深められているようです。そして、毎年三学期に漢字能力検定を受け、学習の成果を確かめます。

附属小学校の低・中学年では、それぞれの学年の漢字は確実に書けるようにするほか、一つ上の学年の漢字は「読める」ことを目標に指導しています。どの学年も、正しい形や書き順と

四年生で七級に合格した児童は、五年生になって一カ月半で五年生の漢字の六級を受検しますが、毎年七十%を超える児童が合格して、次の級に進みます。そして、順調に合格できた児童は六年生の最後に準二級に挑戦することになります。この級は、中学校修了程度の難易度ですから一般的には高校生が受ける級とされています。この準二級を取得する児童は、毎年十五%前後という高い割合です。準二級合格者数は、昨年度十四名、今年度は十五名になりました。

一方、漢字能力検定への取り組みを続けている中で、小学校卒業程度の五級

第60回松戸市小中学校合同音楽会に参加

十月二十四日(金)、今年で第六十回目を迎える松戸市小中学校合同音楽会が開催されました。今年度からは吹奏楽クラブが学校の代表として参加します。六年生はこのステージを終える受験勉強のため、しばらく練習をお休みします。全員で演奏できる数少ない本番としてよい演奏をしようと練習してきました。

本番当日、体育館で最後の練習を終え、会場である森のホール21に向かいました。このホールで吹奏楽クラブが演奏するのは初めてです。どんな響きがあるのか楽しみであり不安でもありました。曲はコンクールや聖徳祭でも演奏した「ミス・サイゴン」です。今回で演奏するのが最後になるこの曲に、児童たちは想いの



今年度の読書感想文コンクールの参加校は、三十都道府県にまたがり、全国から九百六十二校に及んでいました。その中から一校しか受賞することのできない「最優秀校賞」を、今年も受賞することができました。また個人賞でも、優秀賞を和田晃尚君(二年生)、優良賞を佐藤平蔵君(一年生)、谷桃子さん(六年生)が受賞しました。

このコンクールをきっかけに、本に興味を持ち、進んで読書に取り組む児童が増えてくれることを願っています。

読書感想文全国コンクール 七年連続 最優秀校賞 受賞



附属小学校では、毎年このひら文庫賞読書感想文全国コンクールに、全校で取り組みんでいます。夏休みに、それぞれの児童が選んだ三十ページほどの課題図書を読み、その感想文を書いていきます。書きあがった児童の作品は、登場人物の心情をうまく表現したもの、自分の言葉で思いを表現しているもの、自分の経験と重ね合わせたものなど、様々なものがありました。自然な文章表現、文章構成で綴った作品が多くみられ、児童の表現力が伸びてきていることを感じました。

幼稚園短信

聖徳学園創立七十五周年記念 植樹式 三田幼稚園



十一月二十日(木)、雲ひとつない秋空の下、植樹式を行いました。三田校舎は、「ハナミズキ」を選びました。

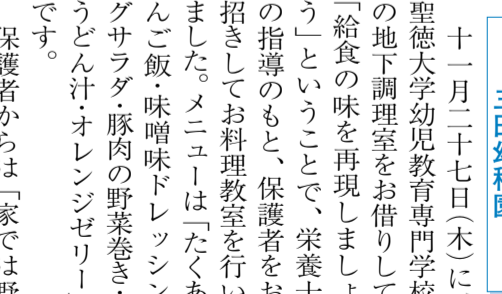
港区の区樹でもある「ハナミズキ」はピンクの花を咲かせる木です。父母の会の会長、副会長をお招きし、全園児、幼稚園全教職員、専門学校は代表の教職員、学生が参加いたしました。

開会の言葉から始まり、川並妙子園長先生、専門学校の阿部仁先生から植樹の話、ハナミズキのお話をわかりやすくしていただきました。

その後は土をかける、水をかけるなど代表の方々が行いました。園児たちからも「大きくなれ」と声が上がりました。

和やかな植樹式となりました。この植樹式に立ち会っていただきありがとうございました。

給食人気メニューのお料理教室 三田幼稚園



十一月二十七日(木)に、聖徳大学幼児教育専門学校地下調理室をお借りして「給食の味を再現しよう」ということで、栄養士の指導のもと、保護者をお招きしてお料理教室を行いました。メニューは「たくあんご飯・味噌味噌ドレッシングサラダ・豚肉の野菜巻き・うどん汁・オレンジゼリー」です。

保護者からは「家では野菜を食べないけど幼稚園では食べてると言ってます。この料理は美味しいですね」と作り終えた後の感想

葛西臨海水族園での園外保育 附属第二幼稚園



穏やかな晴天に恵まれた十月二十八日(火)、松組の園児たちは待ちに待った葛西臨海水族園での園外保育を実施しました。

海の中に住む生き物について少しでも関心が高まるよう事前に水族館からお借りしたビデオを見たり、絵本や図鑑を見ると、さらに期待が膨らみ、当日までの園児たちの会話は園外保育のことばかりでした。

はとバスから降り、水族館に向かう園児の表情は嬉しさいっぱいで、自然に足早になっていました。到着してすぐに、ぼかぼかした陽光の中、お楽しみのお弁当です。「どんな生き物がいるのかな?」「早く見たい

ね」と会話が聞こえ、楽しい気持ちで伝わってきました。いよいよ見学のスタートです。

園内へと続くエスカレーターを降りると、目の前には大きな水槽の中を自由に泳ぐ大きなシユモクザメがおり、園児たちの目は釘付けとなりました。マグロやペンギンなどのおなじみの生き物からリーファイードラゴンなど、図鑑やビデオで見ただけの生き物たちを実際に目にした園児たちは、水槽に顔を近づけて、食い入るように見て、なかなか離れずにいる光景はとても印象的でした。



一人ひとりが公共道徳を守りながら、一層海の生き物について理解を深めた有意義な水族館遠足となりました。

小学生の「ゆめ・仕事」びったり体験

附属幼稚園

十二月十一日(木)、附属幼稚園に隣接する松戸市立相模台小学校の六年生が将来の職業選択や就業のための学習などを体験する就業密着観察学習(職場体験)のため幼稚園を訪れました。「おはようございます!」元気な挨拶とともに十四名(男子五名、女子九名)の小学生が登園してきました。その中には、目線が合うほどに身長が伸びた、本園の卒園生(五名)の姿も見られました。



小学生は、幼稚園ホールで、「幼稚園とはどんなところ?」「保育園との違い?」「学校との違い等?」「先生の

仕事の内容は?」などについて簡単な話を聞いた後、各クラスに入って園児たちと実際に話をしたり、遊んだりしました。少し緊張した面持ちで自己紹介をすませると早速着替えを手伝ったり、一緒に絵本を読んだり個々に園児にかかわっていました。園庭に出てボール遊びや自転車、また砂場や遊具など身体を動かして、笑顔が交わしながら遊ぶ姿は、まるで兄弟姉妹のように感じられました。まよめの反省会の時に

は、「とても楽しかったです。幼稚園ってこんなに楽しかったかなって思いました」「幼稚園の先生って何でもできないといけないと思います」「絶対先生になりたいと思いました」など一人ひとりの感想が聞かれました。この体験学習を通じて、幼稚園の先生の仕事を理解し、幼児理解を深めたり、自分の幼児期を振り返ったりすることができたように思います。また、園児たちも少し大きなお兄さん、お姉さんと遊ぶ良い機会となりました。

学内研究保育を終えて

附属浦安幼稚園

十一月二十二日(土)、浦安幼稚園において学内研究保育、研究協議会が開催されました。この研究会は三十二回目を迎え、浦安幼稚園では初めて、担当園として研究保育を発表しました。この研究会は、園内研修の充実を図り、教育の質向上を目的としています。本園での発表は初めてですが、「音楽環境としての『わらべうた』をどう捉えるか」をテーマに取り組んできま

した。このテーマは幼児期から無理がなく、楽しんで自分たちの生活や遊びの中で楽しむことができるというこもわらべうたは、日本の文化が口承されたもので、歌詞とリズム、音域も狭く、動作を伴ったリズムの簡単なうたであるので、園児たちも日常、楽しく遊べました。保護者の方も「わらべうたを教えてほしい、子どもたちに伝えたい」とアンケート調査からも保護者の関心が高いことがわかりました。今後も機会をみ

て、保護者の方と一緒にわらべうた遊びで、子どもとのふれ合いを楽しみ、豊かな親子関係が築いていければと思います。当日は、大学、専門学校、附属学校の先生方に多数出席し、保育を参観していただきました。協議会では、研究課程や当日の保育について発表をし、それぞれの専門的立場でのご意見、ご助言をいただきました。今



クリスマス会

附属第三幼稚園

十二月十四日(日)、第三幼稚園のクリスマス会が行われました。園児が描いた顔のシンボルアーチをくぐり、クリスマスモードいっぱいホールへご案内です。会が始まるまでは薄暗いホールです。会が進むにつれホールのあちらこちらに電飾の明かりが点き、「ワァー」と喚声が上がります。



大きな窓に飾られたピーターパンのステンドグラスに魅せられます。静かな音楽がかかり、天使が舞い降りてきました。天使から各クラスにキャンドルの灯がともされ、誓いの言葉を述べます。パンダおよび桜組による「サンタにお手紙かいたちやっつた」、梅組の「赤鼻のトナカイ」のフォークダンスで、会は盛り上がりま

きました。最後に、松組による「あわてんぼうのサンタクロース」の歌と合奏「森の水車」を行い、沢山の拍手をいただきました。クライマックスは、プレゼントをいっぱい持ったサンタクロースの登場です。「ワァー!」と喜びの声と拍手



をする園児たち、サンタクロースと握手をしたり、プレゼントをもらい喜んでいました。会が終わって、各クラス、とっても良い笑顔の記念写真を撮りました。

防災訓練

多摩中央幼稚園

多摩中央幼稚園では、年に六回防災訓練を行なっています。その回ごとに、訓練の内容やねらいを経験に合わせて計画しています。一学期は、教職員の確認のための机上訓練、園児に対しての事前指導と、地震・火



災想定引き取り訓練等を行います。地震の時の身の守り方、避難の仕方を全体と各学年のねらいにして、訓練を行っています。年少組は初めての訓練ということもあり、泣き出す子どもがいたり、焦ってしまったり帽子が上手に被ることができず教師の援助が必要なこともありました。一回二回と経験を重ね三回目ぐら

いはサイレンの音が鳴ると静かに話を聞こうとしたり、落ち着いて行動することができるようになりました。また、火災想定では、姿勢を低くして避難をすることもできるようになりました。園児たちだけでなく、教師も全員が園児たちの命を守るという使命を確認する訓練であることも理解し、意識して取り組んでいます。訓練の中でも人数確認、避

表現あそびを経験することで

八王子中央幼稚園

一年間の集大成である表現あそびを、本年度は二月七日(土)に行います。各学年ごと、物語に合わせ踊りを踊り、年長になると歌いながら踊る「オペレッタ」に挑戦します。他にもナレーションを担当したり、舞台の上で歌いなが

難の際には在籍簿、笛、非常時持ち出し袋を持ち、避難経路確保の為、廊下、ベランダの戸を開けることや二次災害を防ぐ為のカーテンを閉めたり、電気を消すなど行い、実際に災害になっても対応できるように訓練を取り組んでいます。年間を通して地震・火災の恐ろしさや、身の守り方を知り避難できるようにし、また、個々の年齢に応じて配慮、助言をするなどの援助をしながら防災訓練を行っています。



ら踊ったりして取り組んでいます。表現あそびは始めに、二学年一緒に園歌とうたを歌い、そのうたに童謡を選曲し、園児たちに童謡の良さや日本語の良さを伝えます。

保護者からも、「童謡を歌うことは、とても良い事ですね」と、お誉めの言葉もいただいています。年中児は、初めて楽器あそびを行います。友達と一緒に楽しくメロディーに合わせて行います。楽器に親しみながら楽しんで、友達と取り組む姿がとても印象的です。年長児は、難しい曲に挑戦をし、楽器の種類も増えて木琴や鉄琴、メロディオン等のメロディー楽器とともに、大

平成21年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講]
〈専門職学位課程(教職大学院の課程)〉

入試区分・日程	願書受付期間	入試日
一般入試	B 1月19日(月)～2月5日(木)	2月15日(日)
社会人特別入試	C 2月16日(月)～3月3日(火)	3月8日(日)
現職教員特別入試		

〈博士前期課程〉

入試区分・日程	願書受付期間	入試日*
一般入試・社会人特別入試	C 1月19日(月)～2月10日(火)	2月15日(日)
私費留学生特別入試	C 2月24日(火)～3月5日(木)	3月10日(火)
編入学		

※音楽文化研究科は2/14(土)も入試あり(2日間実施)。

〈博士後期課程〉

入試区分・日程	願書受付期間	入試日*
一般・社会人入試	C 1月19日(月)～2月5日(木)	2月15日(日)

※音楽文化研究科は2/14(土)も入試あり(2日間実施)。

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・音楽学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

入試区分・日程	願書受付期間	入試日
全学全学科統一入試	1月21日(水)～2月4日(水)	2月6日(金)
一般入試	B 2月9日(月)～2月19日(木)	2月22日(日)～23日(月) ※音楽学部は2月22日(日)のみ
センター試験入試	B 1月7日(水)～2月19日(木)	本学の個別学力試験なし。ただし、音楽学部の実技等のみ 2月22日(日)
一般入試		
センター試験入試	C 2月24日(火)～3月6日(金)	3月10日(火)～11日(水) ※音楽学部は3月10日(火)のみ
私費留学生特別入試	C 2月24日(火)～3月5日(木)	3月10日(火)
編入学		
社会人特別入試		

※1/25(日)地区・ターミナル試験場にて実施あり。

聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

対象	入試区分・日程	願書受付期間	入試日
専攻科	内部推薦・一般	C 2月9日(月)～2月19日(木)	2月22日(日)
	一般	D 2月24日(火)～3月6日(金)	3月10日(火)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

入試区分・日程	願書受付期間	入試日
推薦入試	B 1月26日(月)～2月6日(金)	2月8日(日)
特別入試	C 2月9日(月)～2月26日(木)	2月28日(土)
	D 3月2日(月)～3月12日(木)	3月14日(土)
一般入試	B 1月26日(月)～2月6日(金)	2月8日(日)
	C 2月9日(月)～2月26日(木)	2月28日(土)
	D 3月2日(月)～3月12日(木)	3月14日(土)
	D 3月2日(月)～3月12日(木)	3月14日(土)

聖徳大学附属中学校(女子)・聖徳大学附属高等学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	選抜入試第3回(午前)	1月7日(水)～入試日当日	2月5日(木)

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)・聖徳高等学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	一般入試第3回	1月24日(土)～入試日当日	2月6日(金)

平成21年度 後援会支部総会併催の 進学相談会

後援会支部総会併催の進学相談会は業者主催の相談会と違い、落ち着いた雰囲気の中で、ゆっくり相談できるという特長があります。本学主催で休日中心の開催ということもあり、保護者同伴で来訪する受験生が多く、受験相談担当の職員に熱心に質問をしていました。ここ数年の傾向として、高校一・二年次より志望校にアプローチする早期化が進んでいます。受験生だけでなく、広く高校生の参加ニーズに応えられるよう配慮したいと思います。

平成21年度 後援会支部総会併催の進学相談会

日程	支部名	開催場所
6月7日(日)	北海道支部	札幌グランドホテル(札幌市)
9月27日(日)	甲信地区支部	談露館(甲府市)
10月4日(日)	静岡県支部	静岡第一ホテル(静岡市)
10月18日(日)	東北(北)支部	ホテルニューカーリーナ(盛岡市)
10月25日(日)	新潟地区支部	ホテルニューオータニ長岡(長岡市)
10月31日(土)	東北(南)支部	ビューホテルアネックス(郡山市)
11月15日(日)	九州・沖縄地区支部	ホテル日航那覇グランドキャッスル(那覇市)
11月23日(月・祝)	北関東支部	JA共済埼玉ビル(さいたま市)
11月29日(日)	茨城県支部	ホテルCANKOH(土浦市)
12月6日(日)	千葉県支部	聖徳大学(松戸市)
12月13日(日)	東京地区支部	聖徳大学(松戸市)

春休みはかすが荘でゆったりと!!

もうすぐ春休み! 仲間との卒業旅行や謝恩会等には自然豊かな春日の里へお越しください。春日のお湯にゆったりと浸かり、疲れを癒してみたいかがでしょうか。



一般	9,400円～
〈ご利用料金〉 本学学生・教職員	5,400円～
本学卒業生・家族・同伴者	8,300円～

“耳寄り情報”

「信州みそ発祥の地」と言われる佐久市安養寺。これにちなんで「安養寺ラーメン」が誕生しました。佐久市内の6店舗で個性豊かな各店オリジナルの「安養寺ラーメン」を食べることができます。信州みそのルーツを味わってみてはいかがでしょうか?

《佐久市にご当地ラーメン誕生》



※写真は文蔵の「超海老タリアンブリチナ安養寺つけ麺」です。

※詳細は下記、または佐久市観光協会のホームページ等をご参照ください。
佐久市観光協会 <http://www.city.saku.nagano.jp/kankou-k>

ご予約・お問合せは現地フロント係が承ります。お気軽にお問合せください。
かすが荘 TEL:0267-52-2111 〈佐久平より送迎有り・要相談〉
施設の詳細は本学園ホームページからご覧いただけます。どうぞご覧下さい!
<http://www.seitoku.jp/gakuen/house/>

学校法人 **東京聖徳学園**
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)
発行人/川並 弘昭 編集/企画渉外課

PRINTED WITH SOYINK
この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。
09.2.1 re(22)

読者の欄

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。今後、ますます充実させていきたいと思っておりますので、是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

〈アンケートURL〉 <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html>
〈ご意見・ご感想の宛て先〉
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネットからは <http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/> の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)

公開学術講演会 聖徳大学言語文化研究所

7世紀、皇位継承をめぐる畿内での内乱。勝利した天武は即位し、敗北した兄天智の皇子大友(弘文天皇)は自殺と、史書は語る。だが房総半島には不思議な伝説が残る。生き延びた大友皇子は房総半島で再度天武方と戦い、大友皇子も妃十市皇女も、天武方の高市皇子も、皆房総半島で死んだという。彼らを祀った神社もあるのだ。

公開ですので、ご自由にご参加ください。

演題 「壬申乱その後～房総半島の壬申乱伝説～」
大友皇子も高市皇子も十市皇女も、皆房総半島で死んだ!

講師 山口 博 教授 (聖徳大学言語文化研究所長)
平塚 憲一 先生 (君津市久留里城址資料館学芸員)

日時 2月25日(水) 13:00～16:00
場所 聖徳大学10号館14階(松戸市松戸1169・松戸駅東口徒歩1分)
申込み 不要・先着130名 (定員に達した場合、入場をお断りする場合がございます)

費用 無料

主催 聖徳大学言語文化研究所
問合せ 聖徳大学言語文化研究所 または 聖徳大学知財戦略課
電話 047-365-1111(大代)

通信教育部 四月生募集中

通信教育部では四月生を募集中です!

「大学卒業資格」のほか、各種の教員免許状・国家資格(受験資格)が取得可能。「正科生」(一年次、大学二年次編入学)、教員免許状の必要科目のみを履修する「課程正科生」、一科目から履修可能な「科目等履修生」など、あなたにあった「学びのスタイル」を選べます。

4月生願書受付期間

- ▶ 大学・短大 ～4月30日【必着】※書類選考のみ
- ▶ 大学院 ～3月4日【必着】※3月7日(土)試験

聖徳大学大学院 通信教育課程
(博士前期課程/博士後期課程)

- 児童教育学科
- 児童教育コース
- 児童教育コース
- 心理学
- 社会福祉学
- 心理学
- 臨床心理学コース
- ボジティブ心理学コース
- 英米文化学
- 日本文化学
- 化学

聖徳大学短期大学部 通信教育部

- 短期大学部/修業年限三年間。卒業すると通学課程と同じ短期大学士の学位が授与されます。必要単位の修得により、卒業と同時に幼稚園教諭免許や保育士・図書館司書資格を取得できます。
- 大学院/日本初の通信制大学院。実践と研究の両面から、深刻化する子どもたちを取り巻く環境条件を理解し、各専門の児童問題に適切に対応できる、専門的職業人の養成をめざします。
- 大学/教員免許状(幼・小・中高・養護)や保育士・福祉系資格などを取得するための多彩な「学びのスタイル」を用意しています。また免許・資格取得のほか、心理学や教養を深めることができる学びも用意しています。